

あぶた福祉会

第9号

今 回は、喫茶あるそーれ・地域生活者の状況について紹介します。

喫茶あるそーれ

人気のパン紹介

「あるそーれ」でパンの販売を始めて2年が経ちます。今年は、看板が新たに設置され、国道からも目に入りやすくなりました。店内に喫茶スペースも備わ

っているのです。本格エスプレッソコーヒー（210円）と焼きたてのパンをその場で気軽に食べることが出来ます。人気のパンはシナモン（180円）やメロパン（100円）ですが、今後はデニッシュやライ麦素を使用したカンパニーシユなども販売する予定です。また、注文販売や配達も行っているのです、気軽にお問い合わせください。活動について



あるそーれの製パンメンバー

「あるそーれ」は知的障害を持った方の働く場です。利用者の皆さんもパン作りや販売を通じて多くのお客さんとふれ合い、会話できる時間をとても楽しみにしています。今後も、利用者の皆さんが毎日楽しく働ける場の提供、社会参加を目指す為の地域に根ざしたパン屋になれる様に頑張っていきたいと思っています。

毎日焼きたてのパンをご用意して皆さんのご来



店をお待ちしています。

（喫茶一同）

地域生活者の状況について

現在、あぶた福祉会支援で、63名の方が町内で生活しています。それぞれ、グループホーム（ケアホーム）で4〜7人で生活しています。昼間は、友愛の里の通所や授産施設あすなるの通所を利用し日常活動を行っています。

仕事の内容は、友愛の里では、椎茸作り・箱折りの委託作業・



グループホームでの食事風景



室でくつろぐ地域生活者の皆さん

苗花・花壇作り・公共施設の草刈り・施設内清掃などです。あすなるでは、パン作り及び販売・配線の委託・菓子会社の一室を借りてのチョコ・ゼリー詰めなどの委託など、多種に渡って仕事をしています。

また7名の方が一般企業に就職をしています。休みの日には住居事で買い物や行事・お茶・

お琴の習い事など行い、自分の余暇時間を思いおもいに過しています。地域生活者の今後の課題としては、限られた収入の中で掛かる経費や法改正（自立支援法）で決められた本人負担分が住居・通所等を利用する際に、1割負担（減免措置により金額は個人に差があります）となり、その他の支出をいかにして抑さえていくか、障害や病気等の多様化や高齢化が進む中で地域生活者の継続・充実をどう図っていくかなどが挙げられます。

その先の見えない不透明な状況・現場のスタッフである世話人さんの協力を得ながら、支援スタッフ一丸となり生活全般を支えて行きたいと考えておりますので、地域住民の方々のご理解と暖かいご支援を節にお願い申し上げます。

寄付・寄贈品

寄付金

中村 努（室蘭市）

清水友愛の里施設整備期

成会

寄附物品

平山勝俊（月浦区）

中村 勉（室蘭市）